

平成22年度（第13回）日本農芸化学会中四国支部 市民フォーラム
愛ある愛媛ミカン ―カンキツ資源の有効利用を目指して―

月日時：平成22年10月2日（土曜日）13：00から（2時間半）

開催場所：愛媛大学農学部大講義室（松山市樽味3丁目5番7号）

プログラム

開会の辞

県代表幹事挨拶

首藤 義博（愛媛大学農学部教授）

講演

① 菅 卓也（愛媛大学農学部准教授）

ミカンを食べて健康増進

―柑橘に含まれる機能成分について―

座長：西 甲介（愛媛大学農学部）

② 大 野 一 仁（愛媛大学社会連携推進機構客員教授）

ミカンでギャバを増やします

座長：渡部 保夫（愛媛大学農学部）

③ 木 場 洋 次 郎（愛媛大学農学部教授）

ミカンの搾りかすからバイオエタノールを造る

座長：丸山 雅史（愛媛大学農学部）

一般質問

閉会の辞

日本農芸化学会中四国支部 第13回 市民フォーラム

世話人：渡部 保夫

連絡先：愛媛大学農学部生物資源学科

Tel/Fax：089-946-9849

E-mail：watanabe@agr.ehime-u.ac.jp